



「よのなか先生」が日向の未来を創造する

日向市立日向中学校 校長 齊藤 和昭

私が、「よのなか先生」の存在をはじめて知ったのは、平成27年の4月だった。先生方が毎月どんな方をお呼びするか熱心に協議をされていた。最初の講師は、前キャリア支援センター長の水永正憲氏だった。優しい笑みを浮かべながら「働くとは?」「社会に貢献するとは?」等、生徒たちに分かりやすい言葉で語りかけられた。それから毎月のように日向の大人たちが「よのなか先生」として来校された。身を乗り出しメモを取りながら聞き入る子どもたち。「よのなか先生」を見つめるキラキラした眼差しの子どもたちを見て、これからの新しいキャリア教育の夜明けを感じた。「あいさつの大切さ」「勉強の大切さ」「思いやりの大切さ」「出会いの大切さ」「挑戦することの大切さ」等、学校でやっていることのすべてに意味があり、すべてが社会につながっていることを「よのなか先生」は語る。日向の子どもたちは幸せだ。日向の大人はみな子どもたちの先生なのだから。10年後、そして20年後、この子どもたちが日向をしっかりと支えていると私は確信している。

「よのなか教室」の学びや体験を記録しよう

放送大学宮崎学習センター所長 (特任教授) 松下 洋一



前職の宮崎大学で責任者として5年間実施した「自主を促す工学技術者キャリア教育プログラム」を紹介し、学生は授業で専門科目を主に学びます。しかし、社会で活躍できる人材になるには、深い考察力、行動力、持続継続力、コミュニケーション力などが重要です。これらの力は授業で学ぶより、授業外時間に自主的な学びや体験で伸ばすことが大事です。この取り組みでは、取得資格、能力開発などの自主活動成果を「キャリアディベロップメント証明書」に記録して認証・発行しました。活動が証明書に残るので継続努力でき、また、証明書を就職希望企業に示して自分の取り組みを認めてもらうこともできます。

この証明書のように「よのなか教室」での社会の学びや体験を記録する「よのなか体験証明ノート」を提案します。子供たちが家庭で行う自主的な「よのなか体験」も記入でき、キャリア教育支援センターで認証するようにすると、子供たちの意欲が一層増すでしょう。子供たちが毎年行う社会体験が年輪のように積み重なり、何年かしてこのノートの記録を見ながら自分の将来を考えられるようになれば素敵ですね。

「気づいたこと」

長江保育園 園長 橋本 靖代



今回このようなお話をいただき、「よのなか教室」で中学生の皆さんを前にした時のことを振り返ってみました。はじめは緊張し言葉もなかなかまとまらず、聞いている生徒たちも硬い表情でした。少しずつ話をしたり、触れ合うことで気持ちにゆとりができ、かわいい笑顔を見せてくれました。特に、赤ちゃんの人形を抱っこしてもらった時には、本当に優しい表情になっていました。

園長という立場になったばかりで、慌ただしく過ぎていく日々の中、心の余裕がなくなっている自分に気づくことができました。子どもや保護者、職員の笑顔が増えるように、気持ちにゆとりを持ってコミュニケーションをとることを大切にしていきたいと思います。よい機会をいただきありがとうございました。

「キャリア教育をツイートする」

日知屋公民館 緒方 博文



私が生まれ育った西都市は西都原古墳群を中心に歴史ロマンを感じさせる町として知られている。身の回りには数えきれないほどの神話伝説地と大小の古墳。そんな環境の中で普通に育つわけもなく、小学校5年生の頃には太字のマジックペンで「古墳パトロール」と書いた手作りの腕章をして西都原を走り回り、古墳群の向こうに聳える尾鈴山の稜線を眺めながら、ここにある古墳はどれもこの山を意識して造られているに違いないと、イッパシの考古学者気分でした。

大学では当然、考古学を専攻して学芸員の資格を取得し、それを持って日向市に奉職。気が付けば年齢60をとうに過ぎてこれからのことを色々考えている。公務員としても研究者としても中途半端に終えてしまったことを悔やんでも仕方がない。ややもすれば歴史のことを「年表の暗記」と誤解している大人や子供たちに、歴史の楽しさを伝える「仕事外の仕事」をライフワークとして活動したい。



社会体験学習「14歳のよのなか挑戦」

日向中学校

2年生 10月31日(木)・11月1日(金) 75名

3年生から2年生へバトンタッチ。今年度、2年生が2日間、26の事業所で挑戦。
3年生は、6月に実施。(残念ながら雨の影響で28日のみ実施でした。)



(左から 上町保育所・日向消防署・不二かつ日向本店・コープ財光寺店・スイートソウル)

東郷学園

2年生 11月13日(水)～15日(金) 18名

今年度から新たに、期間を2日間から3日間に変更して6事業所で実施。

生徒の感想(抜粋)

- お客様の気持ちを一番に考えて丁寧かつスムーズな仕事に取り組む姿に感動。
- 苦手だったあいさつがこの3日間でするようになり、この経験を活かし頑張りたい。
- 医療現場経験を通じて、自分のやりがいとそれを生かせる仕事を見つけたいと考えた。



(左から やまげ保育園・鈴野農園・耳川森林組合日向支所・マルイチ財光寺店・和田病院・市環境政策課)

受入事業所の皆さん「子どもの未来づくり」のため、ご協力ありがとうございました。

第18回「よのなか先生」研修会

11月18日(月)多目的ホール 18:30～20:45
(ファシリテーターはひむかBIS長友慎治さん、南日本ハム難波裕扶子さん)

「よのなか先生」、小中高校の先生方、日向高校生、大学院生の38名がSDGsについて学び、9グループに分かれ、SDGsを題材にしたカードゲーム教材を使って体験。参加者にとって、世界の持続可能な成長を考える良い機会となりました。



各グループ
討議の様子

令和元年度第2回キャリア教育担当者会議

主催:日向市教育委 員会対象:小中高校教職員
11月18日(月)大王谷コミュニティセンター 14:00～16:00

令和2年度から導入される「キャリアパスポート」について、県の教育研修センターから講義・演習があり、理解を深めようと先生方は熱心に取り組まれました。

